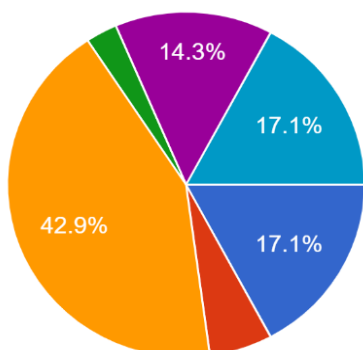


# 令和4年度 「認知症OTステップアップ研修会」 アンケート結果

## ① 所属ブロック

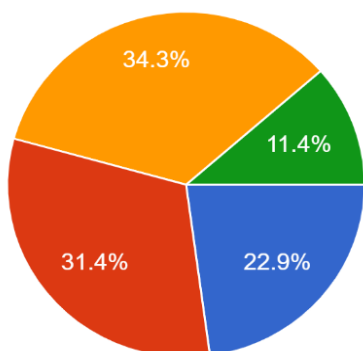
35件の回答



- 延岡・日向ブロック
- 西都・児湯ブロック
- 宮崎市・市郡ブロック
- 小林・西諸ブロック
- 都城・北諸ブロック
- 日南・串間ブロック

## ② 年齢

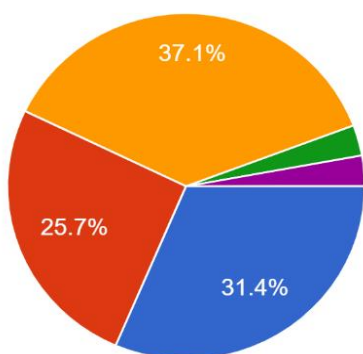
35件の回答



- 20代
- 30代
- 40代
- 50代以上

## ③ 所属領域

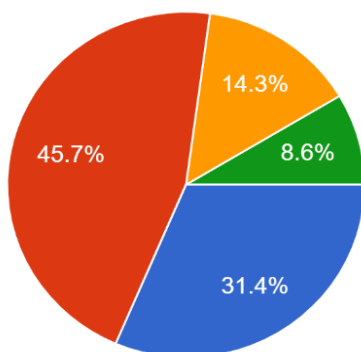
35件の回答



- 身体障害領域
- 精神障害領域
- 老年期障害領域
- 発達障害障害
- 訪問リハビリ

#### ④ 経験年数

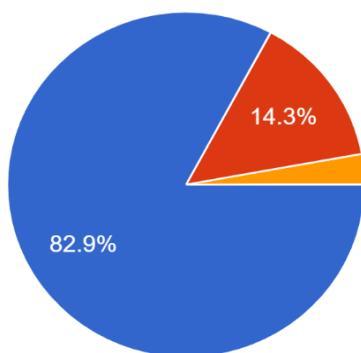
35件の回答



- 0～9年
- 10～19年
- 20～29年
- 30年以上

#### ⑤ 今回の研修内容について

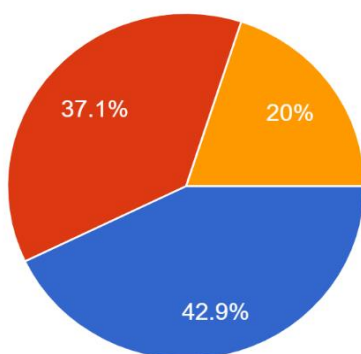
35件の回答



- 満足
- ほぼ満足
- ふつう
- やや不満足
- 不満足

#### ⑥ 研修内容の理解度

35件の回答



- よく理解できた
- ほぼ理解できた
- 理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

⑦ 本日の研修に関する感想やご意見などをお書きください。

- ・ 様々な地域の取り組みを知ることができた
- ・ 大変勉強になりました。いろいろな取り組みを知ることができて良かったです。臨床でも多角的な視点で取り組んでいければと思います。
- ・ その人にとって意味のある活動を通して社会への帰属感を持つことができ、そのことが家族との絆を再構築出来るということを考える機会になりました。
- ・ 事例を通して、御家族が学ぶ場を作ることが大切だと感じました。訪問看護で働いている為、特に御家族と関わらせて頂く事も多く、心理ステップでどういった段階にあるのか等をしっかりと考えて段階に合わせて、共感しつつも対応方法を説明できるように、今回の研修会を参考に臨床に臨んでいきたいと思っています。本日はありがとうございました。
- ・ 全体的に多くの学びがありました。つつい当事者の方に視点が行きがちになりますが、家族への対応も作業療法士の役割として重要であると改めて考えました。
- ・ ケースを用いて説明していただき、大変分かりやすい勉強会でした。現在関わっている患者のことを考えながら聞くことができ、今後のプログラムや治療に取り入れていきたいと感じました。
- ・ ご家族に対する支援や指導まで行えていない為、ご家族と本人と一緒にした支援が行えるように、積極的に関わっていききたいと思います。
- ・ 病院で勤務しておりますが、認知症の方にかかわる上でしっかりとエビデンスをもちながら関わらないといけないと再認識しました。地域で開催されているサロンなど参加してみたいと思いました。
- ・ 分かりやすい内容で大変、勉強と刺激になりました。ありがとうございました。
- ・ 認知症の方の家族との関わりが大切なのは分かっている、どのように支援したらいいのかわからずいたので、今回具体的に知ることができてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 多くの経験を持つ講師のお話は、とても心に響きました
- ・ 事例が多く、自己の経験と重ね合わせて聴講することができました。
- ・ 健康と幸福を高めるためには、良い人間関係を築く事、その中で対象者の主観的な体験を大切にしながら他者に貢献する作業との結びつきの機会を提供することが大切だと学ぶことができました。
- ・ 分かりやすい話で集中して聞く事が出来ました。利用者や家族の方へのアセスメントをしっかりと行かないと思いました。
- ・ 様々な取り組みを知ることができて新しい視点を持つことができそうです。ありがとうございました。
- ・ ご多忙のところ、ご講演ありがとうございました。認知症のある方を中心としつつも家族も同時にケアしていくことの大切さを知りました。研究のお話など、興味深いお話も沢山聞けて、今後の治療の参考にさせて頂きたいです。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 役割や価値のある作業を導き出すことが難しいところではあるが、その方の生活歴などを知る事の大事さを改めて確認できた。認知症の方にもそういう視点での作業療法が取り入れられることが分かり、作業療法の楽しさを改めて感じました。
- ・ わかりやすい言葉で具体的に話して下さり、わかりやすかった。
- ・ 開催時間が仕事がある日でも参加できる時間でよかったです。
- ・ 症状だけでなくその背景に目を向けるべきであること改めて気付かされた。また、活動を選ぶだけでなく、その後や周囲への自己効力感の得られる関わり方についても考えていきたいと思った。

- ・ 対象者の主観や作業の意味を考えて行きたいと思った  
自分は病院勤務ですが、認知症の方のご家族への情報収集や反対に退院時指導等でどのようなことを伝えれば良いか迷う部分があったため、今日の勉強会で少しでも自分の中で答えが見つかり良かったです。とても勉強になりました。
- ・ もっと先生のお話が聞きたかったです。具体例などもたくさんお話しいただいて、大変わかりやすく、参考になりました。
- ・ 本日の研修を通して、認知症の患者様のことだけでなく、家族へのアセスメントを通して、介護の能力を知ることが大事であることを学びました。また、バイスティックの7原則を初めて聞いたので、今回の講義を通して今後の臨床に活かしていきたいと考えます。
- ・ 意味のある作業の大事さを改めて考える機会になりました。作業の必要性は理解してるものの周囲にその作業の意味を伝えることの難しさを感じていましたが、作業レンズで判断するだけでなく批判的作業レンズ的で背景を見出せるよう早速実践してみたいと思います。また、「活動処方箋」のようなもので生活につながる作業を提案できるように、まずは模倣しながら取り組んでみたいと思います。たくさんのヒントを頂ける時間をありがとうございました。
- ・ とても参考になりました。今後臨床場面で活かしていきたいと思います。
- ・ いつも難しさを感じている家族支援について沢山ヒントを頂きました。ありがとうございました。
- ・ 私の精神科病院には、家族支援や教室がなく、入院時にお話を聞くだけしかできてないのです。ご家族は「ずっとここでみてほしい」と言う人が多くなってきていて、どんなふうに話しを持っていったら良いものかと思っていました。講義内で、ご家族に「より生き生きしてもらうには何をしてもらいたいですか？」との詳しいアドレスを頂き、是非活用させていただきたいと思いました。大変ワクワクする講義でした。ありがとうございました。

⑧ 今後希望する認知症関連の研修企画（具体的テーマ）があれば教えてください。

- ・ BPSDに苦勞している家族さんにどういふアドバイスができるのか、研修してみたい。
- ・ 様々な評価を再学習したい
- ・ 若年生アルツハイマーの方に対する関わり方や、プログラムについて知りたいです。
- ・ 回想法
- ・ BPSDへのアプローチ事例
- ・ 骨折などを理由に入院した後、地域に帰るための関わり方や支援
- ・ 諸塚の社協の方々のお話をぜひ聞いてみたいと思いました。また、在宅の方のケアばかり見てきたので、認知症病棟のケース対応なども聞いてみたいです。